

伴奏法

[演習] 第2学年 前期 必修 2単位

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》近藤里美

【概 要】

これまでの音楽療法関連科目で学んだ知識をもとに、音楽を療法的に用いるために必要な伴奏の知識の技能を習得する科目である。

【学習目標】

音楽療法を実施するために必要な伴奏の基礎知識と演奏技能を身につける。

1. 伴奏の役割や機能を理解する。
2. 鍵盤楽器をはじめとする簡易楽器による基本的な伴奏ができる。
3. コード譜を読み取り、曲想に適した伴奏ができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	・ 授業の進め方、授業概要、評価方法の説明	近藤里美
2 5 7	ダイアトニックの特徴と伴奏技法	・ 既成曲のコードの理解 ・ ダイアトニックを中心とした基本的な伴奏技法 ・ 演習と自主学習	近藤里美
8 9 13	ペントニックの特徴と伴奏技法	・ 既成曲をペントニックで伴奏するための知識 ・ 曲想に適したペントニック伴奏の選択 ・ 演習と自主学習	近藤里美
14 15 19	循環コードの特徴と伴奏技法	・ 既成曲を循環コードで伴奏するための知識 ・ 曲想に適した循環コード伴奏の選択 ・ 演習と自主学習	近藤里美
20 21 25	様々なリズムや楽器と伴奏技法	・ 既成曲を様々なリズムで伴奏するための知識と技能 ・ 鍵盤以外の楽器で伴奏するための知識と技能 ・ 演習と自主学習	近藤里美
26 27 29	楽曲や目的に即した伴奏法	・ 伴奏に必要な知識の整理・確認 ・ 楽曲や目的に即した伴奏法の選択と演奏 ・ 演習と自主学習	近藤里美
30	まとめ	・ これまでの知識の整理と各自の課題抽出	近藤里美

【評価方法】

平常点 50%、授業内で行う技能達成確認テスト 50%

【備 考】

教科書 : 特に指定しない。必要な資料・楽譜は授業で配布する。

その他 : 学習形態は、個々の能力に沿った個人・小グループレッスンを基本とする。

【学習の準備】

- ・ あらかじめ配布された資料・楽譜をもとに、十分な事前練習を行うこと。
- ・ 毎回の授業後には、各自の課題点を整理し十分に復習すること。
- ・ 事前学習・事後学習に各々80分を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP3) 作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

近藤里美（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関及び介護保険施設での実務経験を活かし、音楽療法に必要な伴奏法の技能演習を行う。